

東北支部

支部長 木村祐輔

寒の入りを迎え、冷氣日増しに深まるこの頃です。日本死の臨床研究会東北支部会員の皆様におかれましては、新年を迎え益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、今年の10月に札幌で第47回年次大会が開催されますが、翌年、2025年11月には、いよいよ東北の地に年次大会が還って参ります。歴史を振り返りますと、これまでに東北で開催された年次大会は、2001年の第25回仙台大会（大会長：山室誠さん、清水千世さん）に始まり、2010年の第34回岩手大会（大会長：蘆野吉和さん、長澤昌子さん）、2017年の第41回秋田大会（大会長：嘉藤茂さん、石川千夏さん）となります。秋田大会の記憶も未だ鮮明に残っておりますが、2025年の第48回年次大会は再び岩手開催となります。今後は、岩手の方々と共に実行委員会を組織し、年次大会の中心となるテーマを選定後に具体的なプログラムの作成に着手します。詳細が決まり次第、皆様に早々にご案内をお送りいたします。

東北支部の皆様におかれましては、今のうちから暦にご予定を記入頂けますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

【第48回日本死の臨床研究会年次大会】

大会長：木村祐輔（岩手医科大学緩和医療学科）・高屋敷麻理子（岩手県立大学看護学部）

実行委員長：村上雅彦（岩手県立大船渡病院）

会期：2025年11月1日（土）～11月2日（日）

会場：いわて県民情報交流センター「アイーナ」、いわて地域交流センター「マリオス」

【2023年度活動報告】

本年度の東北支部会は、青森県のときわ会病院の皆様に主催いただき、5月27日（土曜日）にオンラインで開催しました。ドイツ音楽療法協会認定音楽療法士の鎌田菜美先生に、『「今」を生きる～音楽心理療法の現場から～』とのご演題でドイツの地からご講演を頂きました。本会を主催頂きましたときわ会病院の皆様に改めて感謝を申し上げます。

また、東北支部としてのニューズレター（10月と3月発行）も継続して発行いたしました。先日、愛媛で開催された第45回日本死の臨床研究会年次大会の支部ブースにおきまして、皆様からお寄せ頂きニューズレターに掲載した各施設紹介を掲示いたしました。

【2024年度活動計画】

・東北支部会は、宮城県立がんセンターの皆様に主催いただきます。詳細が決まり次第ご案内をお送りいたします。ニューズレターの発行も継続する予定です。

【東北支部入会の問い合わせ】

本会は、『死の臨床』において患者さんやご家族への真の援助の道を全人的立場から考えていくことを目的としています。ご関心のある方はどなたでも入会を歓迎いたします。入会手続きにつきましては、お気軽に下記事務局までご連絡ください。支部入会金、並びに支部年会費ともに1000円です。

【日本死の臨床研究会 東北支部事務局】

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通2丁目1-1

岩手医科大学附属病院緩和医療学科

担当：木村・川村

TEL：019-613-7111（代表）

FAX：019-907-8468